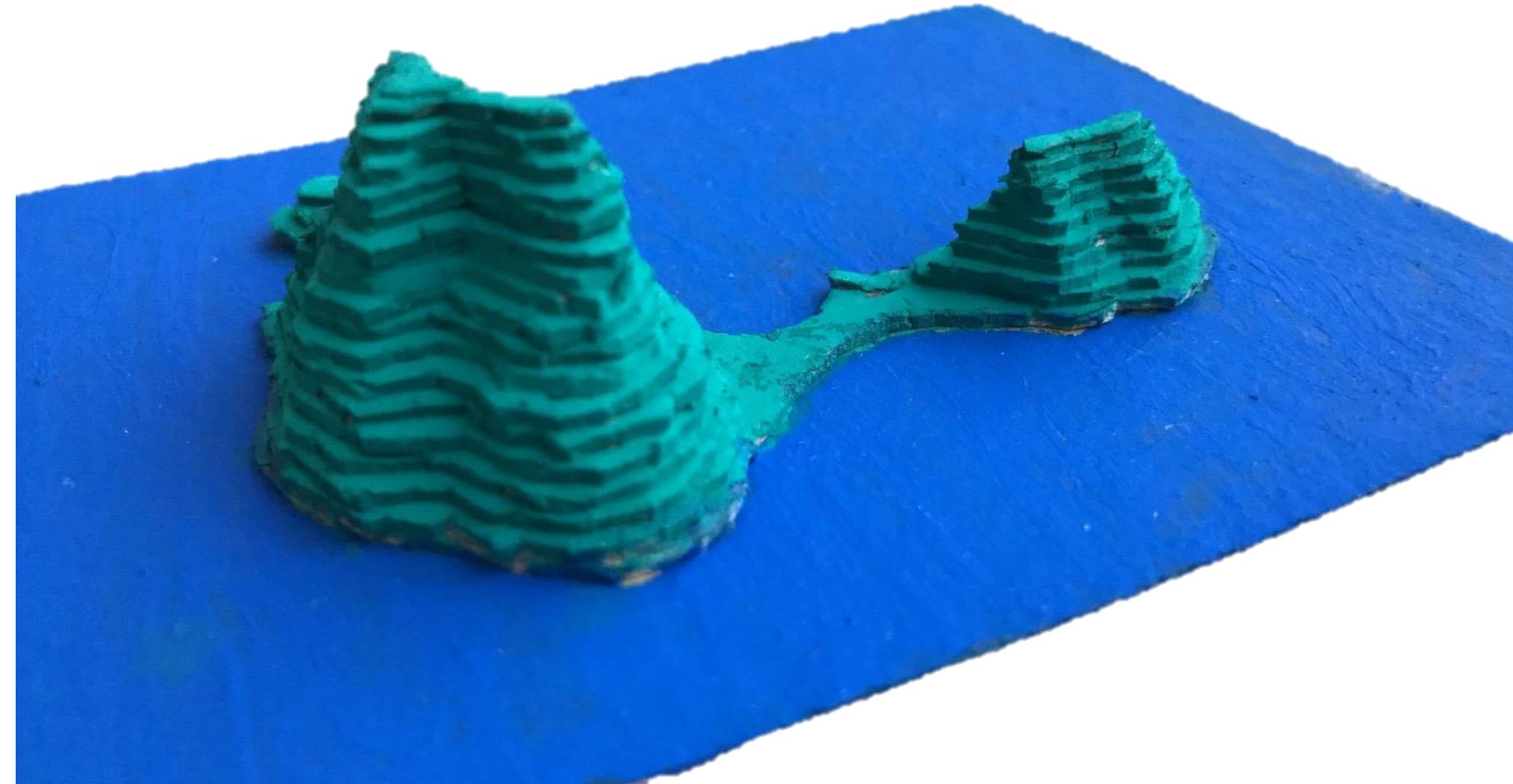


# 地形模型部



作品介绍

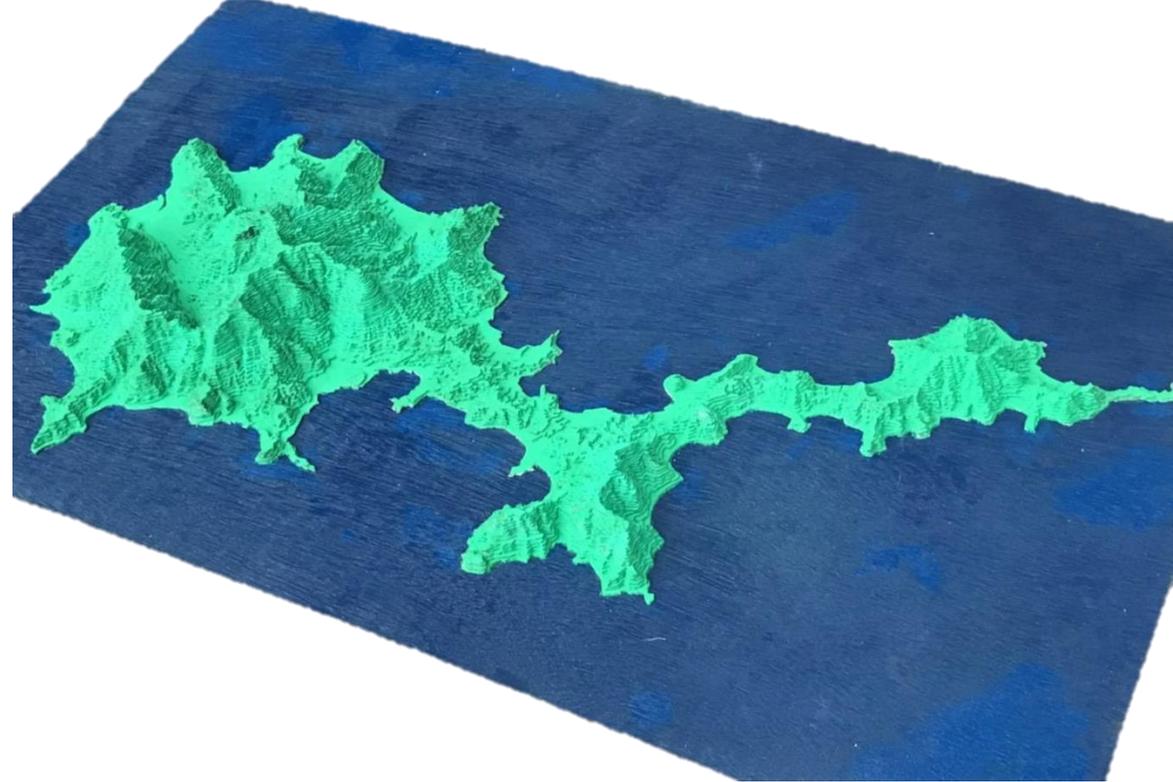
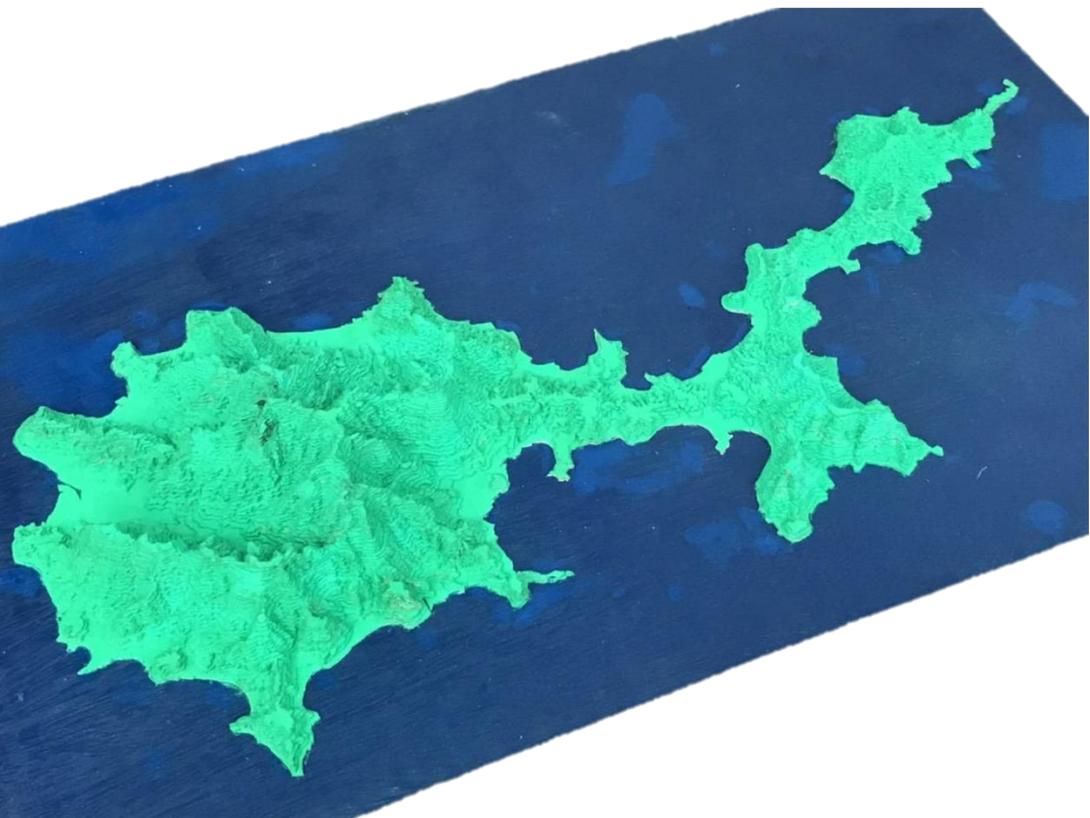
# 屋代島(やしろじま)

中学三年作



縮尺5万分の1

# その他のアングル



# 屋代島の概要

屋代島は、山口県にある島で、大島郡周防大島町を形成します。国土地理院が定める正式名では屋代島と称していますが、周防国の大島であったことから周防大島(すおうおおしま)又は大島と呼ばれることも多く、周辺の島々と周防大島諸島を構成しています。

屋代島は、本州沖約2kmの瀬戸内海上にあります。瀬戸内海では淡路島、小豆島に次ぎ3番目に大きい島です。本州との間の大島瀬戸は潮流が速く、昔は水運の難所とされていましたが、現在は好漁場として釣り人が多いです。島内は海岸沿いまで山があり、平地はわずかしかありません。島内最高峰は嘉納山(かのうさん)ですが、最も山姿が美しいのは嵩山(だけさん)とされ、大島富士とも呼ばれています。瀬戸内海の豊富な魚介類やみかんの産地として名高いです。



# 色丹島(しこたんとう)

中学三年作



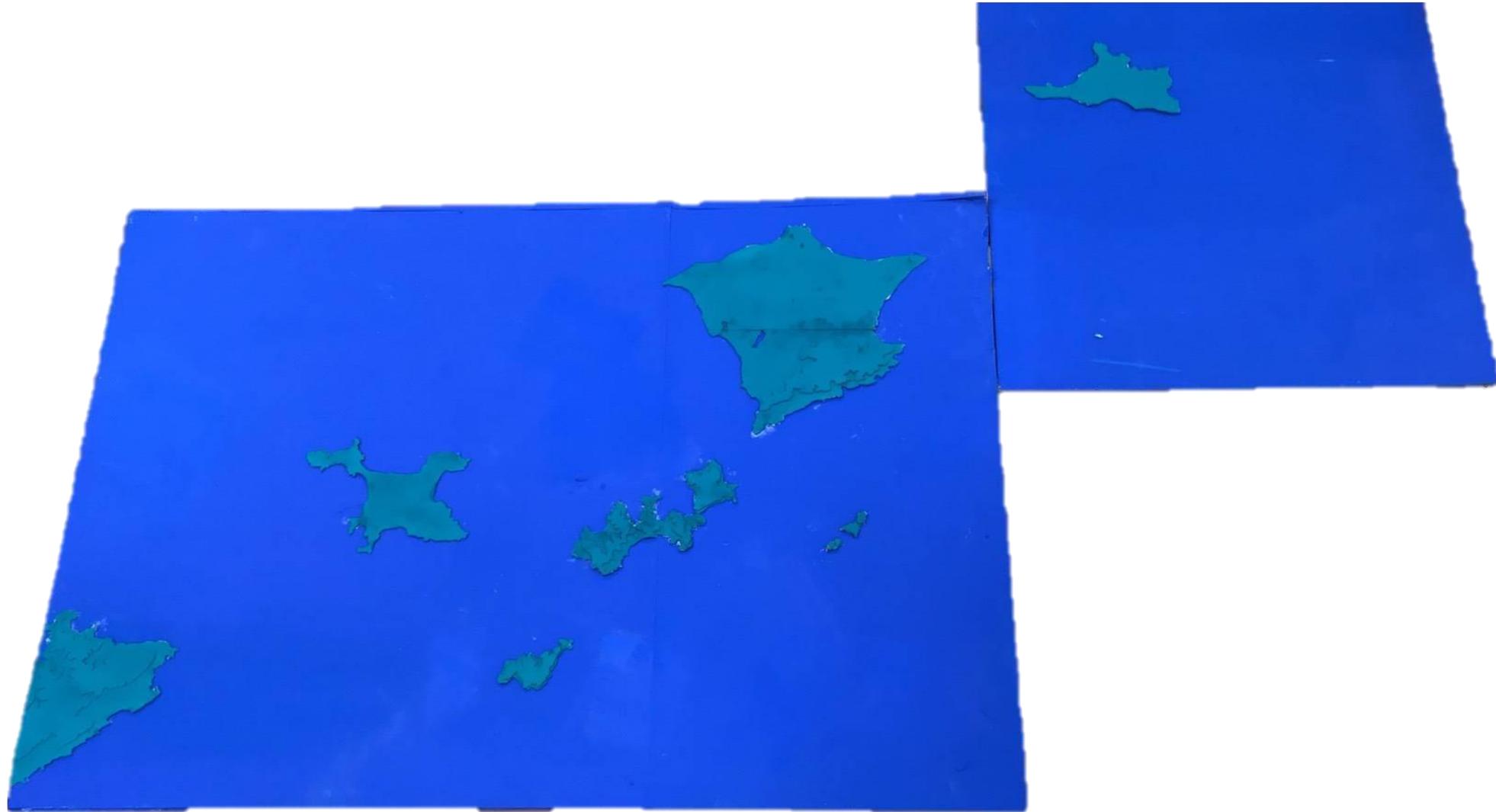
# 色丹島の概要

色丹島(しこたんとう)は、北海道根室半島の東に位置する島です。アイヌ語の「シ・コタン」が由来となっています。

納沙布岬の北東約75km離れたところにあり、斜古丹山を中心に島全体が比較的なだらかな丘陵になっています。高山植物に恵まれた自然の宝庫で、湖沼も多いです。地質構造的には歯舞群島とともに根室半島の延長が部分的に陥没したものとされていて、地形や植生等も根室半島に似ています。海岸線は西北岸は断崖であるのに対して東南岸は変化に富んでいて、船の接岸が可能な場所は20ヶ所以上ありましたが、港としてはあまり機能しませんでした。村役場が置かれた場所は北東部の斜古丹湾岸で、学校や郵便取扱所等設けられ、斜古丹という名の集落をなしていました。島の南北両岸には天然の良港が多く、捕鯨やコンブ、サケ漁等の漁業が主産業でした。



# 齒舞群島(はぼまいぐんとう)

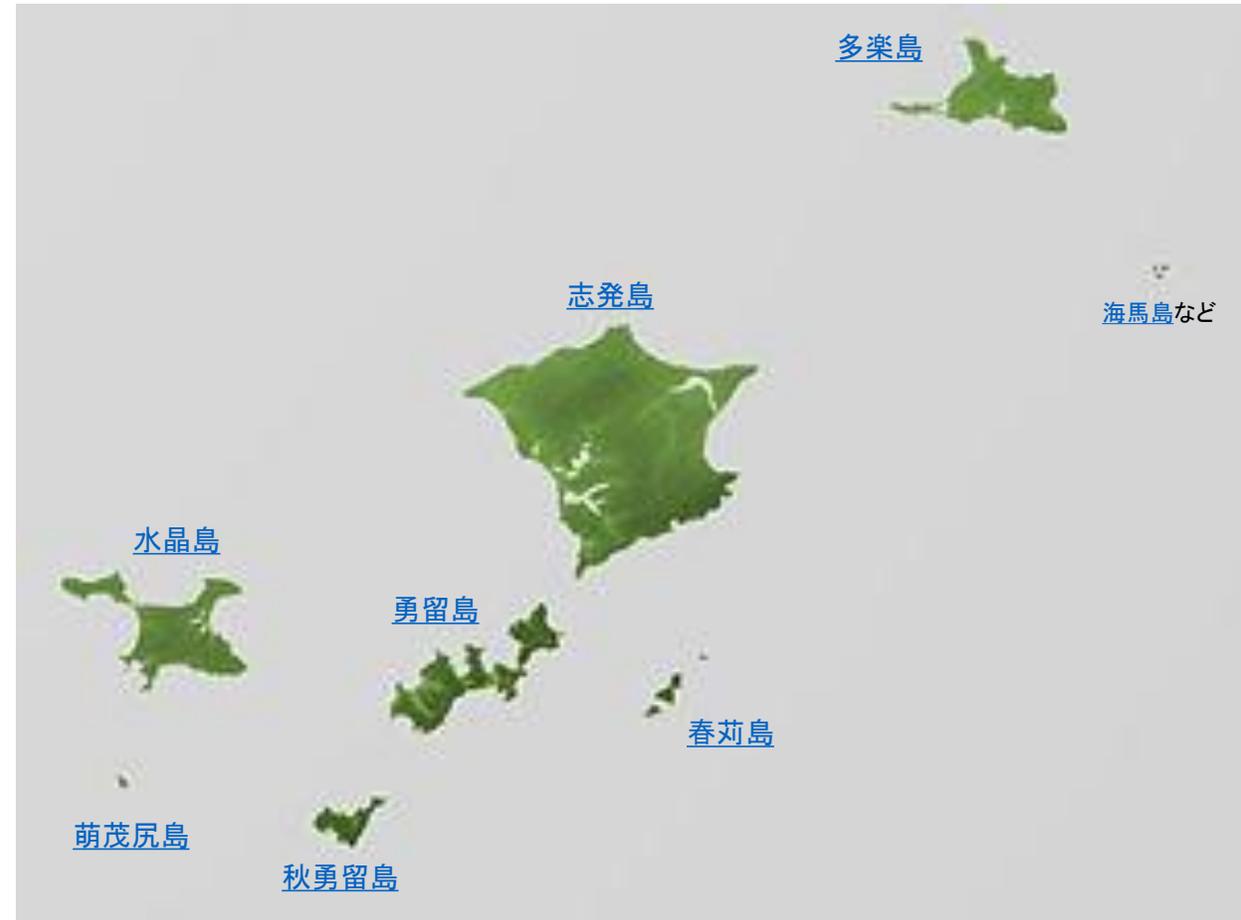


# 歯舞群島の概要

歯舞群島あるいは歯舞諸島は、北海道島の東端である根室半島の納沙布岬の沖合3.7kmから北東に点在する島々です。「歯舞」の由来は、先住民族アイヌの母語であるアイヌ語の「ハ・アプ・オマ・イ」からきています。

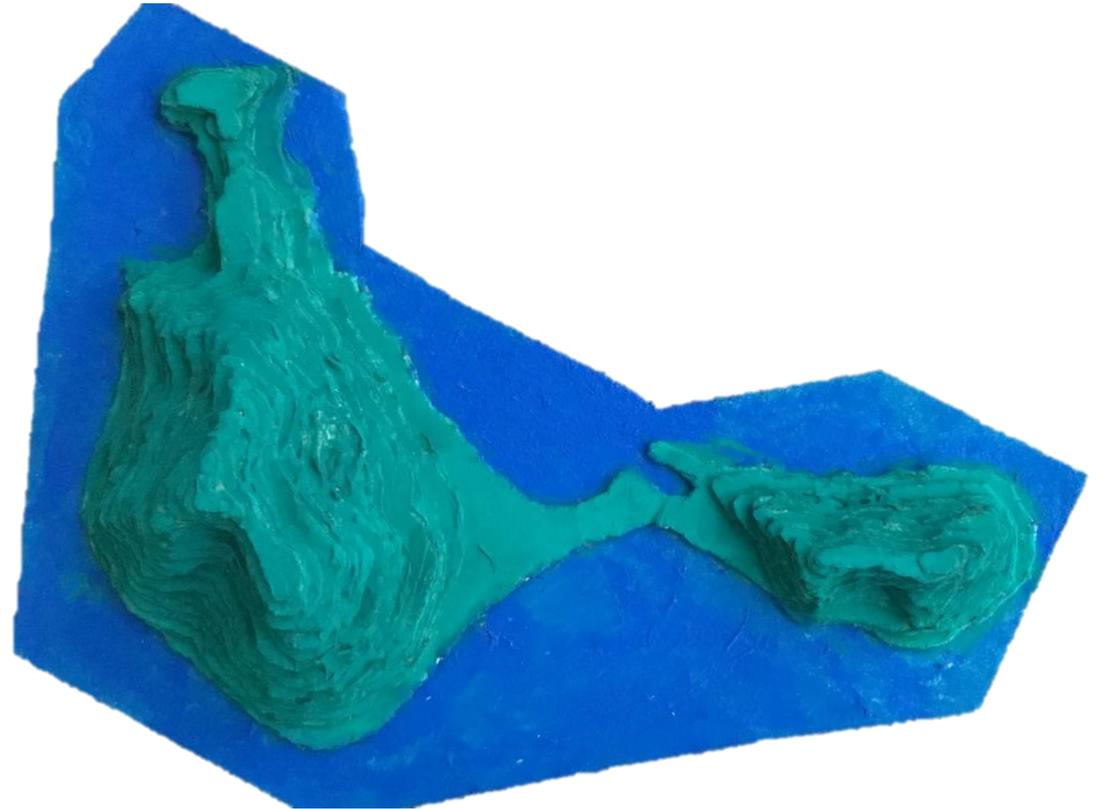
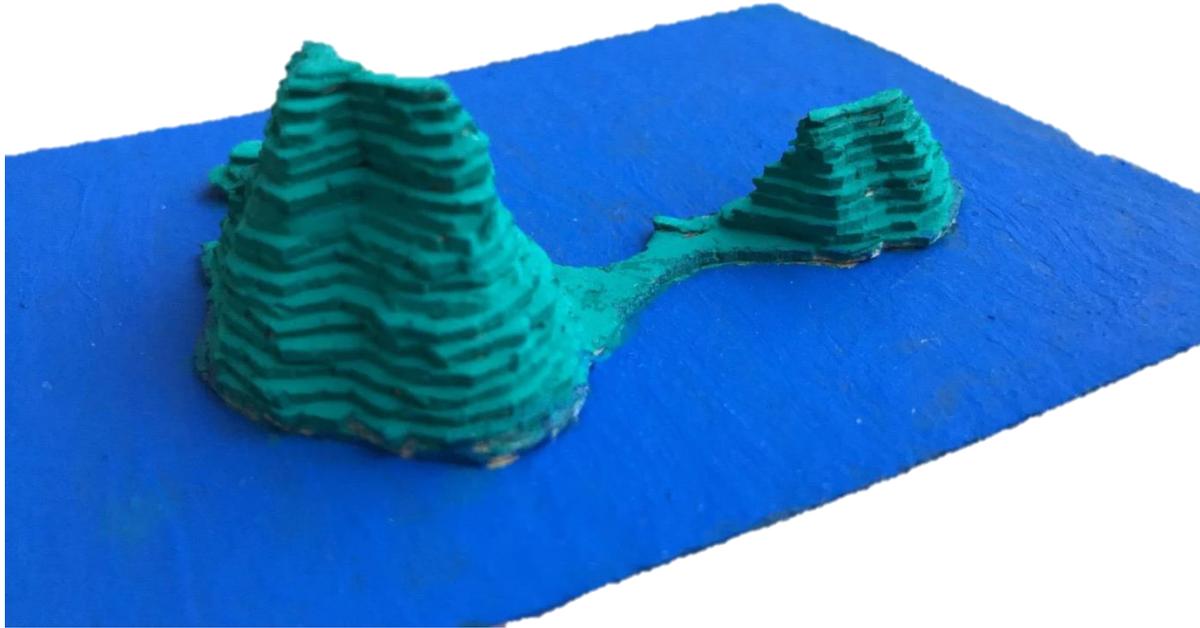
第二次世界大戦前は水晶諸島や瑠瑠瑠諸島(ごようまいしょとう)、あるいは色丹島まで含めて色丹列島と呼んでいたこともありましたが。

台地状の平坦な島々が多く、北方領土の一つであり、複数の小さな島からなっています。諸島ではありますが北方四島のうちの1島として扱われていて、歯舞は四島全体の約2%の面積を占めています。



# 由利島(ゆりじま)

中学一年作



# 由利島の概要

由利島は、伊予灘に位置し、愛媛県松山市に属する島。松山港の沖合の無人島です。面積0.61平方キロメートルあります。

大小2つの島が潮流によって接合された陸繋島で、砂州でつながった形をしており、それぞれ大由利、小由利（標高102.9メートル）と呼ばれています。両島とも安山岩でできており、標高174メートルあります。



# 製作者の感想

## 〈屋代島〉

僕が屋代島を作ろうと思った理由は祖父の別荘があるからです。新型コロナウイルスによる学校閉鎖は突然始まったため作るための道具を持ち帰れず3ヶ月間何もできませんでした。屋代島を作る上で一番大変だったのは、度々等高線がわからなくなることでした。屋代島の人口は約16561人のため畑や田んぼが多く、植生界(土地利用の境界線)と等高線の違いが分かりづらかったからです。それでも苦労した分、出来上がった作品を見ると達成感があります。

## 〈色丹島・歯舞群島〉

色丹島は北部の崖が特徴的です。地形模型で崖を表すには等高線を全て同じようになぞり、それぞれ重ねることでできます。歯舞群島は標高が低いので色丹島と並行して作成しました。北海道との距離をわかりやすくするため、模型左下にある納沙布も作成しました。

## 〈由利島〉

- ・初めての作である今回の由利島は最初としては良かったと思います。しかし、まだ角が残ってしまったのでこれから掘る技術を磨いていきたいと思います。

- ・初めての地形模型の制作だったのでボンドの量が多すぎてはみ出てしまったり、絵の具が多すぎて色にむらが出てしまいました。次の制作は絵の具をもっと溶いて使ったり、ボンドの量を調整しながら使いたいです。